

令和2年度福祉委員部会事業計画 (案)

はじめに

少子高齢化時代の進展のなかで、地域福祉の役割はますます増大し、地域に密着した福祉の推進が求められております。そして、福祉委員には幅広い活動が期待されています。

私たち、中野地区社会福祉協議会の福祉委員は、これまで実直に活動を進めてきました。この実践を基礎に、特に地域高齢者にとって、潤いや優しさのある住み良い地域づくりに向け着実に歩んで行きたいと思っております。

そのため、今日までの研修と経験を教訓とし、次のような事業を進めて行きます。

事業内容

1. 総会・福祉委員部会の開催

開催時期 総会 6月 定例会 6月、9月、12月、令和3年3月の4回開催

2. 研修会・交流会・先進地の見学研修

- (1) 県・市・区及び中野地区社協が主催する研修会への参加
- (2) いきいきサロン連絡協議会の実施(10月頃の予定)
- (3) 福祉委員部会の自主研修会の実施
- (4) 関係団体との交流会(7月に開催予定)
- (5) 「のぞみ会」行事の協力、お手伝い

3. 広報誌社協「なかの」編集参加

年6回発行予定

4. 地域福祉の推進として

(1) 町内会、自治会単位の地域福祉座談会、懇談会の開催

地域で開催する座談会・懇談会は、年間2回実施する事を目標とし、年間2回まで下記の通り、社協より助成金を交付しております。

世帯数	99世帯まで	149世帯まで	199世帯まで	249世帯まで	250世帯以上
助成金の額	5,000円	7,500円	10,000円	12,500円	15,000円

(2) ふれあい「いきいきサロン」事業の推進

これまでの福祉座談会を見学研修の体験などに発展させ、福祉委員を核としたサロンの発足が進んでいます。

高齢者が寝たきりや・認知症になる不幸な事態を起さないための有効なものとして、引き続きサロン作りを推進して行きます。

サロンの運営に当たっては、月1回の開催を原則とし、社協より、助成金として

1サロン年度はじめに、3000円と、毎回参加されたサロン世話人と対象者1人に付50円が年度末に交付されます。

(3) 敬老会事業への取り組み

敬老会の準備や敬老会当日の手伝いを行います。

(4) 平成22年度よりスタートした、福祉のまちづくりプランの実践に全面的に協力し、中野近隣ネットワーク事業の推進、地区ボランティアバンク活動の推進、災害時要援護者支援のネットワークづくり、などへの支援、協力を行う。

(5) 訪問活動については、いきいきサロン、福祉講座、のぞみ会ご案内配布などを通じて、話し合いなどの交流を深めて行くこととします。